

■ 評価基準

| 評価項目 | 配点 | ランク | | | | |
|---|----|-----|----|---|---|---|
| | | S | A | B | C | D |
| ① 提案事業の実施内容・方法・スケジュール | 50 | | | | | |
| i) 提案事業の実施内容・方法が具体的に示されており、その実現性が高い。 (実施スケジュールにおいて、各支援の前倒した実施計画が示されている等、 事業実施期間内において着実な事業実施の蓋然性が高いことを含む)。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ii) プロジェクトの発掘において、適切な目標件数を掲げており、目標達成に向けた方法が明確で実現可能性が高い。 | 15 | 15 | 12 | 9 | 6 | 3 |
| iii) J-クレジットの活用先の開拓において、高い目標件数を掲げており、目標達成に向けた方法が明確で実現可能性が高い。 | 15 | 15 | 12 | 9 | 6 | 3 |
| iv) 地域ネットワークの維持・拡大の方法が明確である。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| v) J-クレジット制度の認知度向上に資する取組が効果的な内容である。 | 10 | 10 | 8 | 6 | 4 | 2 |
| ② 提案事業を実施する体制・基盤 | 25 | | | | | |
| i) クレジットの活用先を発掘する能力・体制を整備している。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ii) プロジェクト計画に必要な根拠書類を確認する能力・体制を整備している。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| iii) 事業の実施地域内で事業を実施できる体制が取られている。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| iv) 委託事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤、組織、人員、資金及び設備等を有している。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| v) 欠員等が生じた際に、事業遂行が円滑にいく体制が取られている。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ③ 過去の実績 | 25 | | | | | |
| i) 過去に同様の事業を実施し成果を上げており、過去の支援実績が十分である。 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ii) 業務従事予定者が、中小企業の排出削減対策、J-クレジット制度に関する知見・業務実績を有している。 | 10 | 10 | 8 | 6 | 4 | 2 |
| iii) 業務従事予定者の学歴・資格・業歴等が、当該業務遂行の前提素養・キャリアとして十分である。 | 10 | 10 | 8 | 6 | 4 | 2 |

合計 100 点

(注)

- 合計点で評価する。(S: 良い、A: やや良い、B: 普通、C: やや悪い、D: 悪い)
- 原則として、合計点の高い者から選定するが、同点の場合には、Sの評価を最も多く得た者を選定する。